

令和 7 年度「教育に関する事務の管理及び執行
状況の点検・評価」報告書

阿久根市教育委員会

1 「点検・評価」の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

阿久根市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し報告書をまとめました。

なお、点検・評価の内容や報告書の様式、議会への報告方法などは、市教育委員会で決定することとなっています。

2 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の趣旨

教育に関しては、教育の機会均等、教育水準の維持・向上、地域の実情に応じた教育の振興を図るため、地方公共団体の長から独立した行政機関として「教育委員会」が置かれ、それぞれに属する権限の範囲内で相互に対等かつ独立して事務を執行しています。

よって、市の学校教育、社会教育、スポーツ、文化財等についての具体的な方針や施策は、この「教育委員会」の合議で決定されることになります。

(2) 教育委員会制度

阿久根市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成されており、教育長及び委員は市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、市長は、教育行政の大綱の策定や教育の条件整備など、重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行うため、総合教育会議を設置しています。

(3) 教育委員の構成

(令和7年6月1日現在)

職 名	氏 名	任 期	期数	備 考
教 育 長	中 野 正 弘	令和6年5月11日 ～令和9年5月10日	3	
委 員 (教育長職務代理者)	大 漉 孝 夫	令和3年7月1日 ～令和7年6月30日	4	
委 員	古 賀 正 男	令和3年10月1日 ～令和7年9月30日	4	
委 員	中 野 真 理	令和5年10月1日 ～令和9年9月30日	5	
委 員	西 園 敦 子	令和5年2月17日 ～令和9年2月16日	4	

3 「点検・評価」の内容等

(1) 事務内容等の決定

教育委員会が管理・執行する事務は、広範囲に及んでいます。

そこで、教育委員会事務局各課において、阿久根市教育振興基本計画の各課の事業について、令和6年度中の「点検・評価」を実施しました。

(2) 「点検・評価」の手順

点検・評価の実施に当たっては、令和6年度の活動や実施状況についてAからDの評価区分に基づき各課で自己評価を行い、その進捗状況や成果・課題を把握した上で特記事項としてまとめました。

4 全体的な教育予算及び主要事業

令和6年度の教育費の予算総額は16億935万円（補正第11号現在）で、市の一般会計予算総額147億5,850万円（補正第11号現在）の10.90%を占めており、教育費の予算総額は、対前年度比49.08%（令和5年度決算10億7,953万円）、5億2,982万円の増額となっています。

教育総務課では、学校の統・廃合に係る方向性等について、総合教育会議や学校規模適正化協議会において議論を重ね、児童生徒や未就学児の保護者及び尾崎小、田代小また鶴川内中校区の地

域住民への説明・意見交換会を開催しました。

今後も、保護者・地域住民への説明・意見交換会を開催して意見等を伺うとともに、関係機関等との検討を重ね、理解が得られるよう努めていきます。

学校施設の整備については、長寿命化計画に基づき令和５年度に実施する予定でありました阿久根小学校２０号棟及び阿久根中学校２３号棟の改修工事を着手しました。また、脇本小学校及び三笠中学校屋内運動場落下防止等対策工事、阿久根小学校３６号棟外壁改修工事などを実施しました。今後も老朽化に係る改修工事等を計画的に実施していきます。

その他、各学校施設の軽微な維持修繕や特別教室等の１１か所に空調機を設置するなど、児童生徒が安心して安全に学校生活が過ごせるよう環境整備に努めました。

学校教育課では、児童生徒の学力向上をめざして、諸学力調査の結果分析や「学習者主体の授業」の在り方の協議を基に、小・中・高学力向上研修会の内容を充実させ、定着が不十分な内容については、管理職研修会等での指導を継続してきました。その結果、年々授業改善を図ることができています。

また、小学校の外国語教育を進めるための支援として、中学校籍の外国語の専科教員を配置し、小学校の外国語教育の充実に努めました。一方、小学校高学年と中学校で、「こころを紡ぐメッセージコンクール」の募集を行い、表彰するとともに、作品集を作成するなどして、児童生徒と保護者との心の交流を図り、互いの存在について考えを深め合うことにより、豊かな心の育成を図りました。

さらに、教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的として、地域の人材を学校に配置するスクール・サポート・スタッフ（ＳＳＳ）配置事業に取り組み、業務の負担軽減に努めました。

生涯学習課では、市民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習の推進や社会教育、自主文化事業に取り組みました。

社会教育事業では、阿久根の自然を活用した体験活動の推進を目的に実施している「あくねキッズスクール」において、寺島宗則の功績を学び、阿久根大島や田代の自然を満喫した活動や野外炊飯活動等を通して郷土を愛する心を育み、学校や学年を越えた仲間との交流、体験活動を充実させることができました。

また、生涯学習講座や高齢者学級においては、市民の学習環境の充実と生きがいづくりに努め、公民館活動では、ワークショップ型の研修会を開催し、各自治公民館における課題及び改善策について協議を行いました。

自主文化事業では、吹奏楽フェスティバルを始めとする各種コンサートやシネマパラダイス等を開催し、幅広い年代の方に来場していただきました。

スポーツ推進課では、スポーツの振興や交流人口の拡大のためにボンタンロードレース大会や阿久根市長旗九州選抜高等学校駅伝競走大会などの大規模イベントを実施しました。また、昨年度に引き続き、本県のプロバスケットボールチームである「鹿児島レブナイズ」のプレシーズンゲームの開催、大学、社会人、プロの野球の交流戦である「薩摩おいどんリーグ」を本市野球場でも開催するなど、スポーツイベントを通して集客を図り、市の活性化に寄与しました。

スポーツ合宿では、県ボクシング連盟や国内外の高校野球部に加え、本市初となる東京六大学野球連盟所属の立教大学野球部の合宿を受入れました。

また、生涯スポーツの推進を図るため、総合運動公園の施設を利用して「チャレンジアップスイミング」や「各種健康教室」を開催し、健康の保持増進、気軽に楽しくスポーツに参加できる環境づくりに努めました。

学校給食センターでは、地産地消の推進及び地元の特産品や産業等について学ぶ「学校給食地産地消推進事業」として、地元産食材を活用した給食を計4回実施しました。また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を一部活用し、給食費値上げ分の補助を行いました。施設等整備については、安全・安心で衛生的な学校給食を提供するため、開設当初から使用している給食配送車のうち1台を更新購入しました。

【 1 教育委員会の令和6年度活動内容】

（教育委員会機能の充実と活性化）

項 目	内 容	活動指標		成果・課題
1 教育委員会会議の運営改善	・教育委員会定例会及び臨時会の開催	開 催 回 数	14回	阿久根市教育委員会の行政組織等に関する規則に基づき開催(原則毎月10日に定例会、必要に応じ臨時会を開催)し、教育委員会の基本方

				針を初め、規則・要綱等の制定・改正・予算等についての議案などを審議・議決した。
	・教育委員会会議の運営上の努力			議案等の会議資料を各委員に事前配布をしているが、会議の充実・効率化に向けてさらに努力が必要である。
	・移動教育委員会の開催	開催回数	0回	実施しなかった。
2 教育委員会会議の公開、住民への情報発信	・教育委員会会議の傍聴者の状況	傍聴者数	12人	委員会の開催日程は、ホームページで周知している。
	・教育委員会会議記録の公開の状況	情報公開請求件数	0件	教育委員会の会議録は記録者が作成し、教育委員の署名により承認している。また、会議録は、平成28年度からホームページで公開している。
	・移動教育委員会の状況	開催回数	0回	実施しなかった。
3 教育委員と事務局との連携	・教育委員会における情報の共有		定例教育委員会時及び随時	定例教育委員会等において、教育委員の事務執行報告及び事務局の行事等についての報告を行い、情報の共有を図っている。
4 教育委員の研修体制の充実	・研修会等への参加	参加回数	3回	国・県の研修会への参加し、教育分野における諸問題を解決できる能力の向上に努めた。
5 学校等の教育施設の訪問等	・教育委員訪問	訪問回数	4回	教育委員訪問については4校実施し、学校の運営状況の聴取及び学校施設の視察を行っている。 訪問のない6校については、定例教育委員会後に学校経営説明会を開催し、各校長から説明を受けている。
	・その他の学校訪問など	訪問回数	随時	学校行事以外の市中学校英語暗唱・弁論大会や二十歳のつどい、市長旗九州選抜高校駅伝競走大会などのスポーツ、文化や生涯学習分野への参加、また、学校規模適正化協議会の委員として、将来の学校規模の在り方に関し、保護者や地域の代表者と意見を交わすなど、積極的に参加した。

自己（各課）評価基準

評価	評価区分	考え方
A	・計画通り進んでいる ・十分な成果が見える	優れた取組みや状況等が見られ、改善を必要せず、計画通り順調に進んでいる
B	・概ね計画通り進んでいる ・成果が見える	良い取組みや状況が見られ、若干の課題もあるが、概ね計画通りに進んでいる
C	・計画がやや遅れがちである ・成果が見えるが改善が必要	一定の成果が見られるものの、課題も見られ、計画もやや遅れがちである
D	・計画が大幅に遅れている ・抜本的な見直しが必要	課題が多く着手できていないか、着手したが成果が見られず計画も遅れがちである

教育基本計画にかかる各課の事業一覧と自己評価

方向性

1 子供の可能性を伸ばします

〈主体的、相互の学び〉

基本施策

(1) 確かな学力の定着

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学力実態把握事業	各種学力検査により、児童生徒の学力の実態を把握します。	学校教育課	A	A	A	A		継続した取組から、各種調査で成果が表れている。
教科・領域等部会研修事業	教科・領域ごとに部会を編成し、それぞれの指導法改善に向けて研修を行います。	学校教育課	B	B	B	B		概ね計画通りに進んでいるが、教科によって改善を図る必要がある。
小・中・高学力向上研修会	小・中学校と鶴翔高等学校が共通のテーマを設定し、研究授業を通して学習指導法の改善に取り組めます。	学校教育課	A	A	A	A		鶴翔高校・阿久根中・大川小が授業を提供して、研修会を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上策の改善が図られている。
校内研修指導	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A		各学校の希望に応じ、計画通り派遣できており、計画以外の訪問も行った。
英語指導法研	研究授業を通して、英語の指導	学校教育課	A	A	A	A		市で統一したCan-do リストを

修 会	法について研修 します。							基に、小・中学校 で連携し、計画通 り実施できた。
土 曜 授 業	指定月の第2 土曜日に3時間 の授業を実施し、 基礎学力等の定 着を図ります。	学校教 育課	A	A	A	A		計画通り実施 でき、時数を確保 するとともに、目 的に応じた教育 活動ができた。
年 次 別 研 修 の 充 実	フレッシュ、ス テップアップ、パ ワーアップ研修 を支援し、授業研 究等を通して指 導・助言を行います。	学校教 育課	A	A	A	A		計画通り実施 でき、各対象の教 諭の指導力向上 につながった。

(2) 特別支援教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
特 別 支 援 教 育 支 援 員 配 置 事 業	特別な支援を 必要とする通常 学級に在籍する 児童生徒に対す る支援を図りま す。	学校教 育課	B	A	A	A		兼務校に継続 して支援員を配 置することで、支 援の充実を図る ことができた。
就 学 相 談 事 業	児童生徒の実 態に応じた教育 支援を行うため に、就学相談を行 います。	学校教 育課	A	A	A	A		学校や園、保護 者の要望から、児 童生徒の実態に 応じて実施でき た。
特 別 支 援 学 校 連 携 事 業	特別支援学校 と連携を図り、適 切な就学のため の相談活動を行 います。	学校教 育課	A	A	A	A		児童生徒の実 態に応じて、計 画通り実施できた。
特 別 支 援 教 育 に 関 す	障害の内容や 程度に応じた適 切な指導法等に	学校教 育課	B	A	A	A		園や療育機関、 各学校から多く の参加があり、研

る 研 修 会	関する研修を行い、教職員の指導力の一層の向上を図ります。							修や協議内容の充実を図ることができた。
特 別 支 援 教 育 部 会 研 修 会	個別の事例への対応法等に関する研修を行い、特別支援教育担当教員の指導力の一層の向上を図ります。	学 校 教 育 課	B	B	B	A		特別支援教育の充実や担当教員の指導力向上を図ることができた。
市 教 育 支 援 委 員 会	障害又は障害の疑いのある幼児及び児童生徒について、適切な就学相談及び就学判断を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		対象の幼児及び児童生徒に対して、専門家を委員として適切に就学相談及び就学判断を行った。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教科・領域等部会研修事業 (再掲)	教科・領域ごとに部会を編成し、それぞれの指導法改善に向けて研修を行います。	学 校 教 育 課	B	B	B	B		概ね計画通りに進んでいるが、教科によって改善を図る必要がある。
小・中・高学力向上研修会 (再掲)	小・中学校と鶴翔高等学校が共通のテーマを設定し、研究授業を通して学習指導法の改善に取り組めます。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		鶴翔高校・阿久根中・大川小が授業を提供して、研修会を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上策の改善が図られている。

校 内 研 修 指 導 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて、指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		各学校の希望に応じ、計画通り派遣できており、計画以外の訪問も行った。
英 語 指 導 法 研 修 会 (再掲)	研究授業を通して、英語の指導法について研修します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		市で統一したCan-do リストを基に、小・中学校で連携し、計画通り実施できた。

〈創造する力の育成〉

基本施策

(1) キャリア教育（あくねよかところ教育）の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
あくね よかところ 教育事業	児童生徒に、進んで地域とつながり、地域のよさを知り、わかったことを発信することを通して、ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、自分の将来を切り拓き、自立して生きていく力を育成するためのキャリア教育を推進します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		前年度までの研究実践を基に、各学校で、キャリア教育の充実を図ることができた。更なる外部人材の活用を図っていきたい。

(2) ICT環境の整備

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
G I G A ス ク ール 事	小・中学校の全児童生徒に配備した1人1台の	教 育 総 務 課	A	A	B	B		端末の修繕依頼が多かったが、学習に支障が出

業	学習用端末等の I C T機器の効果的な活用による教育環境の向上を図ります。							ないよう、早急に対応をした。令和 7年度の端末購入に向けて準備を進めた。
市 I C T 活 用 研 修 会	1人1台の端末を活用した授業改善の方向性や、具体的な実践について説明する研修会を実施します。	学 校 教 育 課	A	A	B	A		各学校の担当 者と連携を図ることができた。また、演習を行うことで、各学校の実践につなげることができた。
I C T ソ フ ト 説 明 会	校務支援ソフトやプログラミング教材の活用方法に関する研修会を行います。	学 校 教 育 課	A	A	B	A		年間2回、計画通り実施できた。校務支援員と協力し具体的な説明を個別に行い、市共通の取組ができた。

(3) 豊かな感性や想像力を育む教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 図 画 作 品 展	児童生徒の美術的表現力の向上に期するため、図画作品を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		計画通り実施した。 県に出品した作品については、「こころを紡ぐメッセージ」作品集の挿絵として活用した。
市 作 文 コ ン ク ー ル	児童生徒の作文力の向上に期するため、作文を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		計画通り実施した。 入賞作品については、作品集「文集あくね」を作成し、掲載した。

市読書感想文コンクール	児童生徒の想像力の育成、表現力の向上に期するため、感想文を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施した。 入賞作品については、作品集「文集あくね」を作成し、掲載した。
市小・中・高合同音楽会	児童生徒の音楽的表現力の向上に期するとともに、専用ホールでの演奏及び鑑賞を体験させるため、音楽会を実施します。	学校教育課	B	—	A	A		計画通り実施した。参観者からは、前向きな意見が多く、今後、市全体で行う児童生徒の発表の機会を創出したい。
市小・中学校弁論大会	児童生徒に、自分の考えを多くの人前で発表できる態度や表現力を育成するために弁論大会を実施します。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施した。 学校から観覧できるオンライン配信も行って実施できた。

〈学びや成長の連続性〉

基本施策

(1) 幼・保・小連携の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市教育支援委員会	子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するために、乳幼児期を含め早期から教育相談や就学相談を行うとともに、本人・保護者に十分情報を提供し、本	学校教育課	A	A	A	A		対象の幼児及び児童生徒に対して、専門家を委員として適切に就学相談及び就学判断を行った。

	人・保護者と学校、教育委員会が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を図れるよう、教育支援委員会を実施します。							
幼・保・小連絡会	入学予定の小学校において、子供一人一人が生活の変化に対応し、義務教育及びその後の教育において、実り多い生活や学習を展開できるよう、保育園やこども園と小学校が相互に教育内容を理解したり、子供同士の交流を図ったり、指導方法の工夫改善を図ったりなどすることを目的として実施します。	学校教育課	B	B	A	A		昨年度までの課題や成果の引継を基に、各園、各小・中学校、高等学校、各事業所の担当者が一同に集まって、様々な意見を交わして充実した協議を行い、計画通り実施できた。
スタートカリキュラム	小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育園・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくための力	学校教育課	A	A	A	A		各学校において作成及び見直しを図り、新入生への指導に活用した。

	リキュラムを、各小学校において作成するとともに、実際の学校生活で活用します。							
--	--	--	--	--	--	--	--	--

(2) 小中一貫教育の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中一貫教育推進事業	小・中連携の指導体制による小中一貫教育(連携型)の研究校(小2・中1)を指定し、指定校に「小・中一貫教育推進協議会」を設置します。	学校教育課	B	A	A	A		共通の学校教育目標、めざす子供像、教師像を設定し、年3回の合同学校運営協議会を開催することで、更なる推進につながった。

(3) 体力・運動能力の向上

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
体力・運動能力調査事業	体力・運動能力調査の結果をもとに、指導の充実を図ります。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施し、各学校の課題が明確になり、指導に活用することができた。
教科体育の充実と体力づくり活動の推進	「一校一運動」の推進や「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組の推進、学校体育の充実のための研修会を開催します。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施し、全学校が「体力アップ! チャレンジかごしま」に取り組むことができた。
小学校陸上記録会	陸上記録会を開催し、記録向上等に向けて、小学	学校教育課	A	A	A	A		これまでの反省を生かし、水泳記録会は今後開

	校体育の充実を図ります。							催しないことになった。陸上記録会は計画通り実施できた。
武道等 地域連携 推進事業	外部指導者の派遣や研修会への参加を通して、中学校の武道等の安全確保及び指導の充実を図ります。	学校教育課	B	B	B	B		外部指導者の派遣はなかったが、各学校の担当が研修会に参加した。
競技会 等出場 補助事業	中学校の県外試合出場等の助成を行います。	学校教育課	A	B	B	B		令和6年度の文化系部活動については実績がなかった。

〈支え合いの醸成〉

基本施策

(1) 考え・議論する道德教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市道德 教育指導 法研修会	学校を会場に、各学校の道德教育推進教員及び管理職等を対象に、研究授業を通じた研修を行います。	学校教育課	A	A	A	A		折多小学校で、計画通り実施できた。市内全ての学校から参加があった。
校内研修 会への指導 主事等の派遣	校内研修を通して、道德の時間における指導法及び道德教育全般に係る指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A		各学校の要望に応じて計画通り派遣し、適切な指導・助言ができた。
こころを 紡ぐメッセ ー ジ コ	児童生徒と保護者との心の交流を図り、互いの存在について、考	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施できた。 全学校から 618点のメッセー

ン ク ー ル	えを深め合う言葉の作品を募集し、作品集を作ります。							ジの応募があり、20点の入賞作品を掲載した作品集を作成した。
------------	---------------------------	--	--	--	--	--	--	--------------------------------

(2) 人権教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
人 権 教 育 推 進 事 業	各種研修会への参加及び校内研修の充実を図ります。	学校教 育 課	B	A	A	A		各学校から研修会への参加については計画通り実施できた。 校内の人権教育に関しては、管理職研修会や校内研修を実施し、その重要性について、繰り返し指導を行った。

(3) 体験活動の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
体 験 活 動 の 推 進	食農教育や文化継承活動など、地域に根ざした体験活動を推進します。	学校教 育 課	B	A	A	A		各学校が計画通り、実施できた。
集 団 宿 泊 学 習 支 援 事 業	集団宿泊学習への補助を行います。	学校教 育 課	A	A	A	A		各学校において工夫した内容で実施できた。

方向性

2 魅力ある学校をつくります

〈安心して学べる学校〉

基本施策

(1) 安全・安心な学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設等維持補修事業	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な箇所の維持補修を行います。 児童生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教育総務課	B	B	B	B		校舎等の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えているが、緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。
学校施設等整備事業	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教育総務課	B	B	C	C		阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟長寿命化改修工事に着手した。 なお、当該事業は次年度に繰り越して施工することとしている。 また、トイレの洋式化に向けた改修工事については、今年度は脇本小学校及び三笠中学校を予定していたが、設計書が未完となり、事業執行できな

								かった。
教職員住宅維持管理事業	老朽化した教職員(校長・教頭)住宅の維持修繕等を行います。	教育総務課	B	B	B	B		老朽化のため、修繕が必要な住宅が増加しているが、適切に対応し、概ね維持することができた。

(2) 生徒指導の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
県スクールカウンセラー配置事業	問題行動、不登校等に適切に対応するために、スクールカウンセラーを配置します。	学校教育課	A	A	A	A		各学校の要望に応じて適切に配置することができた。
スクールソーシャルワーカー配置事業	関係機関との連携・調整を図り、児童生徒に関する諸問題の解決を図ります。	学校教育課	A	A	A	A		各学校の要望を受けて派遣を行い、諸問題等を解決できた。
いじめ等相談事業	問題行動・いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・指導のため、臨床心理士等による教育相談を実施します。	学校教育課	A	A	A	A		相談件数は0件であった。学校の要請に応じて対応できる態勢が整っている。
市中学生会議	各中学校の生徒会を中心に、中学生を取り巻く課題について協議する会議を行います。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施でき、諸課題について協議することができた。
カウンセリング	カウンセリング技術、日常的な	学校教育課	—	—	—	—		令和6年度の実施はなかった。

グ研修 会（隔 年）	児童生徒への接 し方等に関する 研修を行います。							
生活指 導研究 協議会	児童生徒の健 全な成長を図る ために、全職員一 丸となった指導 態勢の確立及び 具体的な指導に ついての研修を 行います。	学校教 育課	A	A	A	A		魅力ある学校 づくりの取組と、 授業に内在する 生徒指導の取組 についての協議 を行った。
いじめ 問題対 策連絡 協議会 いじめ 問題対 策委員 会	「いじめ防止 基本方針」に基づ き、いじめ防止対 策について協議 等を行います。	学校教 育課	A	A	A	A		学校の取組や 阿久根市いじめ 防止基本方針に ついて協議を行 い、出された意見 を基に、各学校へ 指導を行った。
自立支 援教室 （あく ねす）	不登校の状況 にある児童生徒 を対象に、相談、 学習等を行い、学 校復帰への支援 を行います。	学校教 育課	A	B	A	A		5名が通室し た。 今後不登校 の児童生徒にあ くねすを紹介す るよう各学校に 指導する。

(3) 良好な人間関係・集団づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
「こころを紡ぐメッセージ」コンクール（再掲）	児童生徒と保護者との心の交流を図るとともに、互いの存在について考えを深め合うことにより、豊かな心の育成を図ります。	学校教 育課	A	A	A	A		計画通り実施できた。 全学校から618点のメッセージの応募があり、20点の入賞作品を掲載した作品集を作成した。

道 徳 教 育 推 進 事 業	学校や地域の 特色を生かした 道徳教育の工夫・ 改善を図り、学 校・家庭・地域が 連携・協力し、児 童生徒の道徳性 の育成に努めま す。	学校教 育課	A	A	A	A		折多小学校で、 計画通り実施で きた。市内全ての 学校から参加が あった。
市 道 徳 教 育 指 導 法 研 修 会 (再掲)	研究授業を通 じた研修会を開 催し、具体的な道 徳授業の指導方 法について研修 します。	学校教 育課	A	A	A	A		折多小学校で、 計画通り実施で きた。市内全ての 学校から参加が あった。
県 ス ク ー ル カ ウ ン セ ー ラ 配 置 事 業 (再掲)	スクールカウ ンセラーを配置 し、問題行動、不 登校等に適切に 対応します	学校教 育課	A	A	A	A		各学校の要望 に応え、適切に配 置することがで きた。
ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー 配 置 事 業 (再掲)	スクールソー シャルワーカー を配置し、関係機 関等との連携・調 整を図ります。	学校教 育課	A	A	A	A		各学校の要望 を受けて派遣を 行い、諸問題等を 解決できた。
い じ め 等 相 談 事 業 (再掲)	問題行動・いじ め・不登校等の未 然防止、早期発 見・指導のため、 臨床心理士等によ る教育相談を 実施します。	学校教 育課	A	A	A	A		相談件数は0 件であった。学校 の要請に応じて 対応できる態勢 が整っている。

〈地域とつながる学校〉

(1) 学校経営の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
校長研修会	年5回、校長を対象にした研修会を実施し、学校経営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り年5回実施でき、校長の資質・能力の向上に資することができた。
教頭研修会	年5回、教頭を対象にした研修会を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行い、各学校における取組に生かすことができた。
学校訪問 学校経営説明会	教育委員と事務局職員による学校訪問を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。 教育委員の訪問を実施しなかった学校については、学校経営説明会を実施し、校長が教育委員に学校の状況等の説明を行います。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施することができた。 全ての学校に対して、学校運営に係る指導・助言を行うことができた。

(2) 学校運営協議会の設置・推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校運営協議会	本年度の年間計画、活動等を確認するとともに、	学校教育課	A	A	A	A		全ての学校が学校運営協議会を設置するとと

	各学期の活動等についての話し合いを行います。 各学期の評価・反省を行うとともに、次年度の教育課程、教育活動等について確認します。							もに、学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。
--	---	--	--	--	--	--	--	-----------------------------

(3) 開かれた学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校運営協議会	地域住民による学校訪問や授業参観の機会を増やすとともに、学校教育活動への評価・提言を行う学校運営協議会を計画的に実施します。	学校教育課	A	A	A	A		全ての学校が学校運営協議会を設置するとともに、学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。
「信頼される学校づくりのための委員会」事業	教職員のモラルや規範意識の向上のための「信頼される学校づくりのための委員会」を、年間3回開催します。	学校教育課	A	A	A	A		各学校で年5回の学校運営協議会において、服務規律の厳正確保に向けた取組を公表した。

〈いきいきと働く教職員〉

(1) 教職員の働き方改革の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
特定事業主行動計画	仕事と家庭の両立及びワーク・ライフ・バランス	学校教育課	A	A	A	A		出産補助休暇や育児休暇等取得しやすい環

	の実現等を支援するために策定し、次世代育成支援対策を推進します。							境づくりに努めた。
校 務 支 援	新学習指導要領の全面実施に係り、ＩＣＴ教育を進めるための整備、校務支援システムの構築を図ります。	教育総務課 学校教育課	A	A	A	A		通知表や指導要録の作成において、校務支援システムを活用した。 2つが連動することにより、大幅な業務改善に寄与している。また、校務支援システムについては、構築できた。
働 き 方 改 革 に 関 す る 意 識 改 革	意識啓発のために、各学校における取組を共有する場を設けるとともに、各学校への具体の働き掛けを推進します。	学校教育課	A	A	A	A		学校の意識改革が推進され、市全体の教頭の業務時間は年々減っている。
ス ク ー ル ・ サ ポ ー ト ・ ス タ ッ フ (S S S) 配 置 事 業	教職員の業務支援を図り、教職員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、多様な地域人材を活用する取組を実施します。	学校教育課	A	A	A	A		県の補助を受け、阿久根小学校に1名を配置した。職員の業務を軽減することができた。

(2) 学校の業務改善の支援

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中学校における業務改善方針	教職員の業務の総量の削減を図り、質の高い教育の維持・発展を図るため、「小・中学校における業務改善方針」を踏まえ、実行可能な取組を速やかに実施します。	学校教育課	A	A	A	A		校務支援システムの導入や学校行事の見直し等により、教頭の超過勤務時間を軽減できた。また、質の高い教育の維持・発展のため、授業の在り方等について継続して指導した。
リフレッシュウィーク	毎年8月11日から17日の期間をリフレッシュウィークと設定します。この期間は、学校行事等を実施しないこととし、休暇を取得しやすい環境をつくります。	学校教育課	A	A	A	A		期間中に行事等を設定せず、計画通りに実施することができた。
夏季休業日の学校閉庁日	毎年8月13日から15日の期間を学校閉庁日と設定します。この期間は、特に勤務を必要としないこととし、休暇を取得しやすい環境をつくります。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り実施した。各学校において休暇を取得しやすい環境を整備した。
部活動休業日	中学校は、週2日（平日1日及び週休日1日）の部活動の休業日を設定します。	学校教育課	A	A	A	A		各学校の部活動ガイドラインに沿って適切に実施された。

(3) チーム体制の構築

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教職員 の人事 評価制 度の積 極的活 用	管理職の日々の授業参観等に基づいた職員指導と評価の在り方について指導助言を行い、教職員の一層の資質向上が図れるよう、教職員の人事評価制度を積極的に推進します。	学校教育課	A	A	A	A		管理職研修会において、職員の人事評価やその後のフィードバックについて研修した。各学校において、人事評価が適切に実施された。
小学校 高学年 における一部 教科担任制の 導入	小学校において、学年が上がるにつれて学校に困り感を抱く児童が増える教科において、専科教員が教える教科担任制に取り組みます。	学校教育課	B	B	A	A		脇本小学校を拠点として積極的に取り組むことができた。SET加配を活用した外国語の指導や算数、理科、音楽専科の活用を図った。
スクール・サポ ート・スタッ フ（SSS）配置 事業（再掲）	主として教員の業務支援を図り、教員が一層児童への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、多様な地域人材を活用する取組を実施します。	学校教育課	A	A	A	A		県の補助を受け、阿久根小学校に1名を配置した。職員の業務を軽減することができた。

〈学び続ける教職員〉

(1) 教職員の資質の向上

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
校長研修会 (再掲)	年5回、研修会を実施し、学校経営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り年5回実施でき、校長の資質・能力の向上に資することができた。
教頭研修会 (再掲)	年5回、研修会を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。	学校教育課	A	A	A	A		計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行い、各学校における取組に生かすことができた。
校内研修会への指導主事等の派遣 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A		年間54回の指導・助言を行い、本市における学力向上の取組を平準化できた。
教職員の人事評価制度の積極的活用 (再掲)	管理職の日々の授業参観等に基づいた職員指導と評価の在り方について指導・助言を行い、教職員の一層の資質向上が図れるよう、教職員の人事評価制度を積極的に推進します。	学校教育課	A	A	A	A		管理職研修会において、職員の人事評価やその後のフィードバックについて研修した。各学校において、人事評価が適切に実施された。
市指定研究協力校制度	市の研究協力校として学校を指定し、研修支援を行い、研究成果を他校へも還元	学校教育課	A	A	A	A		折多小学校で、計画通り市道徳教育研修会を実施できた。

	します。							
年次別 研修 (再掲)	フレッシュ、ス テップアップ、パ ワーアップ研修 を支援し、授業研 修等を通して指 導・助言を行いま す。	学校教 育課	A	A	A	A		計画通り実施 するとともに、指 導法改善及び職 員の資質向上を 図ることができ た。
臨時的 任用教 員等研 修	臨時的任用教 員等を対象に研 修会を実施し、教 職員の資質向上 と授業力向上を 図ります。	学校教 育課	A	A	A	A		令和6年度か ら「学習者主体の 授業」づくり研修 会として参加者 を拡大し、協議を 行なった。
「かご しま教 員育成 指標」の 積極的 活用	教職員が効果 的・継続的に研修 に取り組み、キャ リアアップを図 ることができる よう、県が作成し た教員育成指標 を積極的に活用 します。	学校教 育課	A	A	A	A		管理職研修会 において研修履 歴システムにつ いて説明し、各学 校における教員 育成指標を基に した活用が図ら れた。
「信頼 される 学校づ くりの ための 委員会」 事業 (再掲)	教職員のモラ ルや規範意識の 向上のための委 員会(学校運営協 議会)を年間3回 開催します。	学校教 育課	A	A	A	A		各学校におい て年5回の学校 運営協議会にお いて、服務規律の 厳正確保に向け た取組を公表し た。

(2) 学び続ける教職員の環境づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学び続 ける教 職員の	教職員が効果 的・継続的に研修 に取り組み、キャ	学校教 育課	A	A	A	A		管理職研修会 において研修履 歴システムにつ

支 援	リアアップを図ることができるよう、県が作成した教員育成指標を積極的に活用します。							いて説明し、各学校における教員育成指標を基にした活用が図られた。
臨 時 的 任 用 教 員 等 研 修 (再掲)	臨時的任用教員等を対象に研修会を実施し、教職員の資質向上と授業力向上を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		令和 6 年度から「学習者主体の授業」づくり研修会として参加者を拡大し、協議を行った。
校 内 研 修 会 へ の 指 導 主 事 等 の 派 遣 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		年間 54 回の指導・助言を行い、本市における学力向上の取組を平準化できた。
市 指 定 研 究 協 力 校 制 度 (再掲)	市の研究協力校として学校を指定し、研修支援を行い、研究成果を他校へ還元します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		折多小学校で、計画通り市道徳教育研修会を実施できた。
年 次 別 研 修 (再掲)	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ研修を支援し、授業研修等を通して指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		計画通り実施するとともに、指導法改善及び職員の資質向上を図ることができた。

(3) 社会の変化に対応した人材の育成の強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
情報教育のサポート	パソコンやインターネット、書画カメラ等の情	学 校 教 育 課	A	A	A	A		校内 ICT 研修会及び研究授業等での指導助言

	報機器の学習指導への活用について指導・助言を行います。							を行い、日々の訪問において実施できた。
プログラミング教育	各学校において、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせる等、論理的思考力を身に付けるための学習活動を推進します。	学校教育課	A	A	A	A		各小学校に年間5回教材を貸し出し、計画的に活用するとともに、ビジュアルプログラミング教材の研修を行った。
環境教育	各学校や地域の実態に応じた環境教育を推進します。	学校教育課	A	A	A	A		脇本小学校のウミガメ保全など、各学校で体験活動を通した環境教育を行った。
福祉・ボランティア活動	発達段階を踏まえた「福祉の心」を育てる教育の推進を図ります。	学校教育課	B	A	B	B		各学校において適切に実施した。 見届け等による評価に課題がある。
消費者教育・租税教育・金融教育	金銭・金融感覚をもった児童生徒の育成を図る教育を推進します。	学校教育課	A	A	A	A		教育課程に位置付け、教科の内容として各学校が実施するよう指導した。

方向性

3 教育環境の充実を図ります

〈家庭教育の支援〉

基本施策

(1) 家庭の教育力の向上と家庭への支援

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
就学援助費支給事業	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、就学援助費を支給します。	教育総務課	A	A	A	A		就学援助費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
特別支援教育就学奨励費支給事業	特別支援学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給します。	教育総務課	A	A	A	A		特別支援教育就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
奨学金貸付事業	経済的な理由により、大学などへの就(修)学が困難な学生に対し、奨学金を支給します。	教育総務課	A	A	A	A		奨学金を貸し付け、就学が困難な学生への経済的負担の軽減が図られた。 また、給付型奨学金を創設した民間企業と連携協定を締結し、就(修)学支援の拡充を図ることができた。
濱風ゆめみらい奨学金貸付事業	医学を学ぶ者及び外国の大学等に留学する者に対し、奨学金を支給します。	教育総務課	C	C	A	A		海外の大学に通う1名を採用し、奨学金の支給を開始した。 また、給付型奨

								学金を創設した民間企業と連携協定を締結し、就(修)学支援の拡充を図ることができた。
家庭教育支援事業	関係団体との連携や家庭教育学級の開設により、家庭教育力の向上を図ります。	生涯学習課	B	A	A	B		市P連・市子連の合同研修会における講演会を実施した。全小・中学校において家庭教育学級を開設し、家庭教育力の向上を図った。今年度は、本課職員の講話実施には至らず、今後さらに啓発を図る必要がある。
学習サポート教室	経済的な理由などにより、学習環境面で悩みを抱えている世帯の子供を対象に「学習サポート教室」を開催します。	福祉課	B	C	B	B		貧困世帯を対象とした事業であるため、募集については配慮しながら周知を行った。昨年度と同程度の日数の開催を行い、基礎学力の向上や学習習慣の形成を図ることができた。

(2) 幼児教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市教育支援委員会	就学前の子供について、幼児教育から小学校の円滑な接続を図	学校教育課 福祉課 こども	A	A	A	A		対象の幼児及び児童生徒に対して、適切に就学に向けた判断を

	ります。	保 健 課						することができた。
地 域 子 育 て 支 援 事 業	子育て親子の交流を促進し、子育ての不安等を緩和するとともに、子供の育ちを支援します。	こども 保 健 課	A	A	A	A		子育て支援センターを2か所で実施し、育児不安を抱える保護者への相談支援等を実施した。
保 育 園 等 整 備 事 業	保育環境の改善のため、園舎の老朽化等による整備事業に補助します。	福 祉 課	—	—	—	—		事業実績はなかった。

(3) 健康教育・食育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
健 康 教 育 推 進 事 業	各種健康診断を実施するとともに、市学校保健会や関係機関と連携して、保健教育の充実を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		市学校保健会や関係機関と連携して、計画通り実施することができた。
定 期 健 康 診 断	定期健康診断の結果を基に、疾病の治癒等を推進します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		診断結果を基に、各学校に疾病の治癒等について指導するとともに、再受診について確認をした。
栄 養 教 諭 の 派 遣 ・ 活 用	各小・中学校に栄養教諭を派遣し、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化等の指導に取り組	学 校 教 育 課 学 校 給 食 セ ン タ ー	B	B	A	A		各学校に対して、年通算98回、栄養教諭の派遣を実施した。

	みます。 また、食中毒やアレルギーの防止に関する指導等を行います。							
食に関する指導	栄養教諭を各学校に派遣し、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化等の指導に取り組みます。 各小・中学校に対して、食中毒やアレルギーの防止に関する指導等を行います。	学校教育課 学校給食センター	B	B	A	A		各学校に対して年通算 50 回、栄養教諭を派遣し、「食に関する指導」の授業を行った。
給食センター備品等購入事業	老朽化した厨房用備品等については取り替え、学校給食の提供に必要な備品等の適切な管理を行います。	学校給食センター	B	B	B	B		予算化された給食配送車、コンテナワゴンについては、計画通り、購入することができた。 食缶洗浄機等についても部分的な修繕を行い、給食の提供に支障をきたさないよう適切な管理を行った。
学校給食地産地消推進事業	地元産の食材や加工品を学校給食に取り入れ、阿久根の食の魅力を児童生徒に伝えます。 学期毎に阿久	学校給食センター	B	B	B	B		1・2学期は各 1 回、3学期は 2 回の計 4 回、献立が恒常化しているという課題はあるものの地元産食材を使用し

	根産の食材を活用した給食を提供することにより、地産地消や地元産の食材等への関心を深め、食文化、地元特産品及び地域の産業について学ぶ食育を推進します。							た給食を提供することができ、地産地消や地元産の食材等への関心を深めることができた。
--	--	--	--	--	--	--	--	---

〈安全・安心な環境〉

(1) 学校規模の適正化の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校規模適正化事業	児童生徒に等しく良好な教育環境の向上をめざし、学校規模の適正化を進めます。	教育総務課	C	C	B	B		学校の統・廃合に係る方向性等について、総合教育会議及び学校規模適正化協議会で協議し、児童生徒の保護者・未就学児の保護者及び地域住民を対象とした説明・意見交換会を開催し、一定の理解を得ることができた。

(2) 児童生徒の安全確保

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業	児童生徒の安全確保のため、スクールガード・リーダーを活用するとともに、スク	学校教育課	A	A	A	A		各小学校区に適切に配置し、計画通り実施することができた。

	ールガードの育成を図ります。							
市 安 全 指 導 法 研 修 会	地震、津波等の非常災害時の危機管理、不審者事案に対する対応、安全に関する取組の充実を図るため、研修会を実施します。	学 校 教 育 課	B	A	A	A		計画通り実施でき、各学校の安全点検表の見直しについて充実した協議を行うことができた。
市 水 難 事 故 ・ 交 通 事 故 防 止 対 策 連 絡 会	水難事故の防止及び交通安全教室によるヘルメット着用の徹底と地域ぐるみの交通事故0運動の実践に努めます。	学 校 教 育 課	B	A	A	A		各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。

(3) 良好な教育環境の整備

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 施 設 等 維 持 補 修 事 業 (再掲)	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な箇所の維持補修を行います。 児童・生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教育総 務 課	B	B	B	B		校舎等の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えているが、緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。
学 校 施 設 等 整 備 事 業 (再掲)	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設	教育総 務 課	B	B	C	C		阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟長寿命化改修工事に着手した。

	長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。							なお、当該事業は次年度に繰り越して施工することとしている。 また、トイレの洋式化に向けた改修工事については、今年度は脇本小学校及び三笠中学校を予定していたが、設計書が未完となり、事業執行できなかった。
教職員住宅維持管理事業 (再掲)	老朽化した校長・教頭住宅の維持補修を行います。	教育総務課	B	B	B	B		老朽化のため、修繕が必要な住宅が増加しているが、適切に対応し、概ね維持することができた。

〈市民の豊かな学び〉

(1) 生涯学習の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
生涯学習推進事業	生涯学習講座や社会教育学級を開設し、市民の学習環境の充実と生きがいづくりに努めます。	生涯学習課	A	A	A	A		生涯学習講座19講座を開設(新規講座7講座)し、学べる場や活動内容を工夫した。
生涯学習フェア	生涯学習活動の発表等を通して、生きがいのある住みよいまちづくりに取り組めます。	生涯学習課	C	B	B	B		生涯学習講座生の素晴らしい発表と、工夫された作品を展示することができた。

各種研修会支援事業	各種研修会を開催し、お互いに支え合う地域づくりに対する意識の高揚を図ります。	生涯学習課	B	B	B	B		子ども会、育成会、PTA、公民館長、女性団体など、各種団体の研修会開催を支援するとともに、各種研修会への参加支援もできた。
社会教育関係団体指導者養成事業	社会教育関係団体の指導者を養成し、各団体の活動の充実と活性化を図ります。	生涯学習課	B	B	A	B		地区社会教育団体指導者養成事業の運営や地区で開催されている各種社会教育関係団体指導者養成事業への参加を奨励し、指導者養成を図ったが、参加者の確保が課題である。
地域学校協働活動推進事業	学びの成果を学校支援活動に生かすことのできる態勢づくりを進めます。	生涯学習課	B	B	B	B		全小・中学校で、地域の方々による学校教育活動の支援を行うことができた。支援ボランティアの確保が課題である。
家庭教育支援事業 (再掲)	関係団体との連携や家庭教育学級の開設により、家庭教育力の向上を図ります。	生涯学習課	B	A	A	B		市P連・市子連の合同研修会における講演会を実施した。全小・中学校において家庭教育学級を開設し、家庭教育力の向上を図った。今年度は、本課職員の講話実施には至らず、今

								後さらに啓発を図る必要がある。
「青少年育成の日」の啓発普及事業	親子で地域活動に積極的に参加するよう広報・啓発活動に努めます。	生涯学習課	B	B	A	A		市子連フェス等の子ども会行事など、児童生徒へのチラシの配布等により周知を図った。親子で参加できるような内容を工夫し、参加者も増えた。
「家庭の日」の啓発普及事業	家族のふれあう機会を増やしてもらえるよう広報・啓発活動に努めます。	生涯学習課	C	B	B	B		各会合、各研修会で広報・啓発活動を実施しているが、更に普及活動に取り組む必要がある。
成人教育推進事業	成人の学習機会を拡充し、成人の生きがいに努めます。	生涯学習課	A	A	A	A		生涯学習講座や各種学級を開設し、学習機会の提供を行い、市民の生きがいに努めることができた。
高齢者教育推進事業	高齢者を対象とした学級を開設し、高齢者の生きがいに努めます。	生涯学習課	B	B	B	B		高齢者学級 15 学級を開設。生涯学習フェアにも複数の学級より展示作品の協力があつた。
人権教育推進事業	同和問題をはじめとする人権課題解決のための学習機会の確保や広報等の工夫に取り組み、差別のない社会をめざします。	生涯学習課	B	B	A	B		高齢者学級において、講師として参加し、人権教育講話を行い、偏見と差別をなくす取組みを行った。家庭教育学級での講和実施に

								は至らなかったため、今後は、広報や啓発資料を充実させる必要がある。
--	--	--	--	--	--	--	--	-----------------------------------

(2) 子供の読書活動の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市立図書館等管理運営委託事業	市立図書館の管理運営を指定管理者に委託し、利便性の向上と読書活動の活性化を図ります。	生涯学習課	A	A	A	A		特定非営利活動法人ふれでおと指定管理契約を締結し、読書活動推進向上のため、連携して図書館運営を行った。

(3) 文化財の保護・活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
郷土芸能育成事業	郷土芸能の保存及び伝承を図るために、保存会等への補助を行います。	生涯学習課	A	A	A	A		活動実績のある6つの保存団体等へ運営補助を実施した。
文化財案内板等の整備事業	市内の文化財及び史跡について案内板等を計画的に整備します。	生涯学習課	B	B	B	B		市内4箇所の案内板等の修繕を行い、2箇所の説明板設置を行った。 今後も優先順位を決め、計画的に修繕等を行っていく必要がある。
ガイドブック等作成	文化財や史跡、郷土芸能等をガイドブックにまとめる。	生涯学習課	B	A	A	A		ガイドブックを、風テラスあくねロビー及び図

事業	とめ、市内外へ広報します。							書館で配布した。
郷土資料館管理運営委託事業	市郷土資料館の管理運営を指定管理業者に委託し、資料の適切な保存と管理を行います。	生涯学習課	B	B	A	A		指定管理者である「ふれでお」において、資料の適切な保存と管理が実施できた。

〈スポーツ・文化の振興〉

(1) スポーツの推進・充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
健康づくり事業	健康教室等を開催し、市民の健康づくりを支援します。	スポーツ推進課	A	A	A	A		年間計画の3講座を開催した。市公式ライン等を活用し周知に力を入れ、昨年度と比較し22名の参加者増となった。
スポーツ大会推進事業	市民参加のスポーツ大会の開催のほか、各種スポーツ大会の後援を行います。	スポーツ推進課	C	B	B	C		区対抗ミニバレーボール大会及び校区体協対抗バレーボール大会を当初計画のとおり開催したが、校区体協対抗バレーボール大会の参加者が減少したことから、周知を含め今後の対応を協議する必要がある。
スポーツ指導者育成事業	スタートコーチ養成講習会の開催による指導者育成と資質の	スポーツ推進課	B	B	B	B		スタートコーチ養成講習会が県内で開催され、南薩会場におい

	向上を図ります。							て、本市在住の指導者が参加することができた。
スポーツ少年団活動支援事業	スポーツ少年団の団員確保と活動支援を行うとともに、少年団交歓大会の開催などによる交流を促進します。	スポーツ推進課	C	B	B	B		少子化の影響で登録人数が減ったものの、昨年に引き続きに交歓大会を計画とおり開催した。
競技会等参加費補助事業	全国大会及び九州大会等への参加経費を補助し、競技力の向上を図ります。	スポーツ推進課	C	A	A	A		申請団体は昨年度と比較し増加した。全国大会で入賞者もあり、競技力向上に寄与できた。
ニュースポーツ普及事業(地域づくり事業)	ニュースポーツの講習会による指導者の育成と普及を図るとともに、地域におけるスポーツの活性化を図ります。	スポーツ推進課	A	A	B	B		新たにボッチャシートを購入し、高齢者学級や学校等に貸出し、ボッチャの普及、活性化を図った。
コミュニティスポーツクラブ設置促進事業	様々なスポーツの体験ができるコミュニティスポーツクラブの設置を促進します。	スポーツ推進課	C	D	A	B		総合型地域スポーツクラブが昨年度発足し、今年度から本格始動した。施設使用に関し、内規等を見直し、団体の活動が活性化するように支援をしたい。
チャレンジアップスイミング	水泳の苦手な小学生を対象にした水泳教室を開催します。	スポーツ推進課	D	B	B	B		開催期間の見直しを行い実施した。結果、昨年度と比較し、参加

グ教室								者が21名の増となり、水泳教室から閉校式まで当初計画のとおり実施できた。
海の子カーニバル	たくましい青少年の育成を目的に、主にチャレンジアップスイミング教室受講生を対象とした遠泳を実施します。	スポーツ推進課	D	B	A	D		市外の参加者も参加できるように要項の見直しを実施した。県内から27名の参加者があったが、近海でサメが多数目撃されたことから、泳者の安全性を考慮し、中止した。
海洋性スポーツ普及事業	本市の特性を生かしたカヌーの体験教室等を開催し、海洋性スポーツの普及と青少年の健全育成をめざします。	スポーツ推進課	B	D	B	B		海の子カーニバル参加者を対象に「カヌー体験教室」を実施した。またそれに加え、紙芝居を用い海での安全教育も実施した。
海洋性スポーツ指導者育成	センターインストラクター研修会へ職員を派遣します。	スポーツ推進課	D	D	D	D		今後、資格を有する職員の確保が課題である。

(2) 体育施設の整備と活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
総合運動公園施設整備事業	総合運動公園内の体育施設等の整備、改修等を行います。	スポーツ推進課	C	C	B	B		長寿命化計画に基づき、補助事業を活用し、多目的雨天屋内運動場シャッター等の改修を行った。

海 洋 セ ン ター 施 設 整 備 事 業	B & G 海洋セ ンターの各施設 の改修等を行いま す。	ス ポー ツ 推 進 課	C	C	C	C		今後、計画的に 施設の改修を行 う予定である。
ス ポー ツ イ ベ ン ト 推 進 事 業	あくねボント ンロードレース 大会及び九州選 抜高等学校駅伝 競走大会を継続 して開催するほ か、交流人口の拡 大に資するスポ ーツイベントを 検討します。	ス ポー ツ 推 進 課	D	A	A	A		ボントンロー ドレース大会及 び九州選抜高等 学校駅伝競走大 会を、当初の計画 とおり開催し、地 域の活性化、交流 人口拡大に寄与 できた。
ス ポー ツ 合 宿 誘 致 推 進 事 業	合宿誘致を推 進し、施設の有効 活用を図るとと もに、地域経済の 活性化に努めま す。	ス ポー ツ 推 進 課	B	B	B	A		夏季合宿の件 数が昨年度と比 較し増加した。ま た、春季合宿で は、昨年度に引き 続き、韓国の高校 野球部が合宿を 実施するととも に、本市では初の 東京六大学野球 連盟の立教大学 野球部が春季合 宿を実施し、施設 の活用が図られ た。
特 別 国 民 体 育 大 会 推 進 事 業	2023年開 催の国体に向け た準備を行うと ともに、正式競技 のボクシン競技、 デモンストレー ションスポーツ を開催します。	ス ポー ツ 推 進 課	C	C	A	—		特別国民体育大 会終了により、評 価を行っていない。 (令和5年度終 了事業)

(3) 文化・芸術活動の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市総合文化祭	学習機会の発表の場である市総合文化祭を開催します。	生涯学習課	A	A	A	A		演芸及び展示の両部門を開催した。 本年度も、例年どおり2日間開催した。 演芸部門は36団体の出演、展示部門は38の個人・団体の出展があった。
自主文化事業	市民ニーズに対応した音楽コンサート及び演芸会等を定期的に開催します。	生涯学習課	B	B	B	B		ロビーコンサートや映画上映等の15事業を行った。 事業の内容により、集客に差があった。
文化・芸術鑑賞事業	青少年のための芸術鑑賞事業の実施や社会教育関係団体等の鑑賞活動等の支援を行います。	生涯学習課	A	A	A	A		自主文化事業や青少年劇場などを実施し、児童生徒の芸術鑑賞の機会の充実を図った。
あくね洋画展開催事業	文化・芸術レベルの向上と市民意識の高揚を図ることを目的に継続して開催します。	生涯学習課	A	A	A	A		台風のため2日間休館した影響で昨年より300名ほど少ない1,391名の来場者であったが、出品数は一般・高校生の部220点、ジュニアの部1,359点と共に増加し、作品のレベル向

								上も見られた。
市立図書館等整備事業	市民のニーズに対応できる情報拠点としての役割を発揮できるよう、施設整備について検討を重ねます。	生涯学習課	D	C	B	B		新市立図書館の設計変更業務を委託するとともに、市内産木材の活用方法について協議を進めた。
合宿等誘致推進補助事業	文化活動を行う団体が市内で合宿等を行う費用を補助します。	生涯学習課	C	C	C	C		昨年度に引き続き、今年度も補助金の申請はなかった。

方向性

4 社会全体で子供を育てます

〈地域とともに歩む学校〉

基本施策

(1) 地域の拠点としての学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
『地域が育む「かごしまの教育」県民週間』	現在実施している授業参観等、保護者・地域住民への学校開放に関わる行事等を、可能な限り、この期間に実施します。	学校教育課	A	A	A	A		適切な広報を行うとともに、各学校においては、特色ある学校行事を実施した。
学校運営協議会 (再掲)	本年度の年間計画、活動等を確認するとともに、各学期の活動についての話し合いを行います。 各学期の評価・反省を行うとともに、次年度の教育課程、教育活動等について確認します。	学校教育課	A	A	A	A		全ての学校が学校運営協議会を設置した。学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。
学校施設等維持補修事業 (再掲)	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な箇所の維持補修を行います。 児童生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に	教育総務課	B	B	B	B		校舎等の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えているが、緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。

	努めます。							
学 校 施 設 等 整 備 事 業 (再掲)	学校規模適正化の状況と合わせ、平成 30 年 7 月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教育総務課	B	B	C	C		阿久根小学校 20 号棟及び阿久根中学校 23 号棟長寿命化改修工事に着手した。 なお、当該事業は次年度に繰り越して施工することとしている。 また、トイレの洋式化については、今年度は脇本小学校及び三笠中学校を予定していたが、設計書が未完となり、事業執行できなかった。

(2) 青少年活動の充実

事業名	事業内容	担当課	3 年度 評価	4 年度 評価	5 年度 評価	6 年度 評価	7 年度 評価	評価の理由
少 年 団 体 活 動 支 援 事 業	ボランティア活動や研修等を通して、子ども会活動の充実やジュニアリーダーの育成を図ります。	生涯学習課	B	A	A	A		子ども会長による研修会、市子連フェスによる創作・体験教室の充実をはじめ、県ジュニアリーダー及び高校生クラブ等交流大会においては、多くの会員が実行委員として参加し、ボランティア等を通じてジュニアリーダーの育

								成に努めた。
体験活動推進事業	あくねキッズスクール等、阿久根の自然を生かした体験活動を実施し、たくましい青少年の育成を図ります。	生涯学習課	B	B	A	A		寺島宗則の功績を学び、阿久根大島や田代の自然の中での活動等を通じた郷土に親しむ内容で実施し、主体的な体験活動になるように実施できた。

(3) 学校施設の有効活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設開放事業	体育館等を開放することにより、住民の健康づくりと社会体育の普及に努めます。	スポーツ推進課 教育総務課	B	B	B	B		昨年度と比較し、延べ利用件数及び利用人数は減少したが、少年団活動を中心に使用があり、社会体育の普及が図られた。
福祉部局との連携	定期的に放課後対策等について、教育委員会と福祉部局で協議の機会を設定するとともに、実施状況や問題などを常に共有し、事業検証や問題解決に対応します。	教育総務課 学校教育課 福祉課	A	A	B	A		放課後対策で開放している学校施設への状況把握や問題は、福祉部局と連携を図り、問題解決に概ね対応できた。

〈地域全体での見守り〉

(1) 地域で見守る環境づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
青少年健全育成事業	市青少年問題協議会や校外生活指導連絡会を開催し、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課	B	B	A	A		警察や学校及びPTAと連携して、長期休業中や花火大会における街頭補導など防犯活動を展開した。また、各小・中学校の終業式に合わせ、下校時における見守り活動も実施した。

(2) 子供を見守るネットワークの構築

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業（再掲）	学校や通学路における安全を確保するために、警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱するとともに、各小学校区を巡回指導します。	学校教育課	A	A	A	A		各小学校に適切に配置し、計画通り実施することができた。
市水難事故防止対策連絡会	海、堤防、河川、河口付近、湖沼、池、側溝、港、その他遊泳禁止区域における児童生徒の事故を防止するため、現地視察を行い、水	学校教育課	B	A	A	A		各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。

	難事故防止対策を徹底します。							
青少年健全育成事業 (再掲)	市青少年問題協議会や校外生活指導連絡会を開催し、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課	B	B	A	A		警察や学校及びPTAと連携して、長期休業中や花火大会における街頭補導など防犯活動を展開した。また、各小・中学校の終業式に合わせ、下校時における見守り活動も実施した。

(3) 警察との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業 (再掲)	学校や通学路における安全を確保するために、警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱するとともに、各小学校区を巡回指導します。	学校教育課	A	A	A	A		各小学校に適切に配置し、計画通り実施することができた。
市安全指導法研修会 (再掲)	地震、津波等の非常災害時の危機管理、不審者事案に対する対応、その他安全に関する研修会を実施します。	学校教育課	B	A	A	A		計画通り実施でき、各学校の安全点検表の見直しについて充実した協議を行うことができた。
市水難事故・交通事故	水難事故の防止、交通安全教室によるヘルメッ	学校教育課	B	A	A	A		各学校と関係機関による積極的な意見交換を

防 止 対 策 連 絡 会 (再掲)	ト着用の徹底と、 地域ぐるみの交 通事故0運動の 実践に努めます。							行うことができ た。
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	---------------

〈切れ目のない支援〉

(1) 地域、関係機関との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教 育 相 談	関係機関からの 情報や就学時 健康診断を通し て、未就学児の特 性を把握し、必要 に応じて、教育相 談、発達検査等を 実施します。また、 就学相談を行います。	学校教 育課	A	A	A	A		各学校や園、保 護者の要望に応 じて、計画通り実 施できた。
移 行 支 援 シ ー ト の 活 用	移行期における 学校間連携につ いて、文書等によ り確実に引継ぎ を行います。	学校教 育課	B	A	A	A		各園や鶴翔高 等学校、療育機関 との連携を図る ことができた。また、 今年度から個別 の教育支援計画 の形式を市で統 一し、活用をして いる。

(2) 福祉との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
県 ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー 配 置 事 業 (再掲)	問題行動、不登 校等に適切に対 応するためスク ールカウンセラ ーを配置します。	学校教 育課	A	A	A	A		小・中学校の要 請に応え、適切に 配置することが できた。

ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー 活 用 事 業 (再掲)	関係機関との 連携・調整を図 り、児童生徒に関 する諸問題の解 決を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		問題行動や不 登校への対応に 加え、自立支援教 室「あくねす」に おいても児童生 徒に寄り添った 対応を実施する ことができた。
子ども・ 子 育 て 会 議 放 課 後 児 童 部 会	全ての就学児 童の放課後対策 と学校施設の放 課後事業への活 用について、協議 する場を設けま す。	福 祉 課 教 育 総 務 課 学 校 教 育 課	D	D	D	D		放課後児童部 会は、開催する ことができなかった。

(3) 医療との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
児 童 生 徒 の 健 康 診 断	学校保健安全 法第13条に基づ き、全ての児童生 徒の健康診断を 行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		市学校保健会 や関係機関と連 携して、計画通り 実施することが できた。
就 学 時 健 康 診 断	学校保健安全 法の第11条に基 づき、次年度に小 学校に入学予定 の幼児の健康診 断を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A		計画通り実施 し、診断結果を基 に、疾病の治癒等 について保護者 に周知した。
学 校 フ ッ 化 物 洗 口 事 業	むし歯予防の ため、各小・中学 校において、フッ 化物洗口を実施 します。	子 ども 保 健 課 学 校 教 育 課	A	A	A	A		市内全ての学 校で、実施計画に 基づき、児童生徒 へのフッ化物洗 口を実施してい る。

〈企業等との連携・協働〉

(1) 高校との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中・高学力向上研修会 (再掲)	市内の小・中学校と県立鶴翔高等学校が、共通テーマを設定し、研究授業等を通して学習指導法の改善に取り組みます。	学校教育課	A	A	A	A		鶴翔高校・阿久根中・大川小が授業を提供して研修を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上策の改善が図られている。
あくねよかところ教育事業 (再掲)	あくねよかところ教育を通して、市内の小学5年生から中学3年生の児童生徒が、「将来をどう生きるか？」について考えるとともに、学ぶ意欲を高め、学力の向上に寄与します。	学校教育課	A	A	A	A		前年度までの研究を基に、各学校の実態に応じた、キャリア教育の充実を図ることができた。

(2) 企業との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
あくねよかところ教育事業 (再掲)	「あくねよかところ先生」に登録している方を講師として学校に招き、キャリア教育の一環として、講話や体験活動等を行います。	学校教育課	A	A	A	A		前年度までの研究を基に、各学校で、キャリア教育の充実を図ることができた。

(3) 地域との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
地域学校協働活動推進事業	地域と学校をつなぐコーディネート機能の充実を図り、個別の活動の総合化・ネットワーク化を図ります。	生涯学習課	B	C	B	A		生涯学習課に推進本部を置き、学校に対する協力活動など、コーディネートを行うことができた。人材リスト等の整備にも努めた。